



11月18日

西寄照隆さん(剣道協会)が、地域におけるスポーツを通じたまちづくりに貢献されたとして「貝塚スポーツ賞」を受賞されました。おめでとうございます。



11月18日

大阪エヴェッサチャリティパートナー事業により、(株)LogicWorks様(谷中裕和代表取締役)から、小・中学校にバスケットボールをご寄贈いただき、感謝状を贈呈しました。各学校での教育活動に活用させていただきます。ありがとうございます。



11月30日・12月8日



カラダの中も外もきれいになるう！をキーワードに開催した「スラッと美活教室」で、栄養講義や調理・運動実習を行いました。参加者は、自宅でも実践しやすい調理法や運動法を教えてもらい「家でもやってみたい」と充実した笑顔でした。



木包丁を手作り



11月23日

貝塚市歴史展示館と市民庭園で開催した「はくふだまつり2020～貝塚場所～」に約90人の家族連れなどが来場し、博物館のワークショップに参加して、泉州地域の歴史や文化を紹介する博物館カード「はくふだ」をゲットしました。ワークショップでは木包丁(弥生時代の収穫具)を作るなど、貴重な経験ができました。



輪投げ

11月20日

貝塚市青少年指導員連絡協議会が、社会を明るくする運動に貢献したとして、近畿地方更生保護委員会委員長から感謝状を受章し、その報告に市役所を訪れました。青少年指導員のみなさんには、社会を明るくする運動の市民パレード参加、標語パネル掲出、街頭啓発などに取り組んでいただいています。



12月1日

コスモシアター大ホールホワイエで、琴とヴィオラによる和と洋が融合した「コスモロビーコンサート」が開催されました。曲目は「春の海」など日本の曲が中心で、圧巻の表現力に観客は魅了されていました。次回「ロビーコンサート」は、2月25日(木)午後1時から開催する予定です。



12月1日



中央公民館で「気軽に書道」講座が開催され、絵の具と墨を使って年賀状を作成しました。凛とした空気の中、集中して筆をすすめていた参加者からは「久しぶりに筆を持ったが、気持ち落ち着いた」「字と向き合えた」「公民館で学び集うことが楽しい」などの声が聞かれました。



12月4日

元日本テレビアナウンサー(現在フリーアナウンサー・記者)の藪本雅子さんをお迎えし「輝け！みんなの大事な命」をテーマにハンセン病問題をはじめ人権問題についてご講演いただきました。丁寧な取材と実体験をもとにしたお話は、人権の大切さについて改めて考える機会となりました。



問合せ先
秘書課 ☎072-433-7316



「備えあれば憂いなし」ということわざがあり、訓練は継続実施することで、より安全性を高めることができます。こうした機会にぜひ市全体の防災意識向上に繋がりたいと思います。

澄みきつた冬晴れのもと、せんごくの杜防災広場で令和2年度総合防災訓練を実施しました。訓練では、南海トラフの広大な地域を震源としてマグニチュード9.1の連動型巨大地震が発生。貝塚市でも震度6弱の大きな揺れを観測、大津波警報が発表されるなか、地域随所で家屋倒壊や火災が発生しており、被災住民の救出救護、火災の消火、負傷者の搬送などの必要が生じているという想定で行われました。私は統轄者として、直ちに災害対策本部を設置し、人命救助を最優先して応急対策に当たるよう指示し、訓練が始まりました。せんごくの杜防災広場の広大なエリアを利用して、消防各分団合同による消火放水訓練、大阪府消防局や大阪府隊友会によるヘリコプター救出・搬送訓練、貝塚警察署、陸上自衛隊第37普通科連隊、市消防本部による倒壊家屋や車両からの救出訓練、市立貝塚病院などによる現地医療訓練が行われました。どの場面も緊張感と迫力があり、訓練に取り組むみなさんの真剣な姿をたいへん頼もしく感じました。会場では他にも防災広報展示コーナーや非常食の配布などが行われ、訓練参加者を含め500人を超えるかたにご来場いただきました。多数のご来賓をはじめ、訓練や展示にご協力いただいた各関係団体のみなさん、本当にありがとうございました。



12/6

市長行動録
総合防災訓練



動画はこちら